

16.【宮崎県】宮崎県東臼杵郡美郷町 令和3年度渡川ダム堆積土砂除去工事

〈試行工事概要〉

工期	R3.10.11~R4.3.18
試行期間	R3.10.28~R4.2.22
工事内容 (主工種)	堆積土砂除去 V=9,476m ³
発注者	宮崎県日向土木事務所
受注者	(株)松澤組

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・ASP（現場クラウド forサイボウズOffice）	・ICT掘削前のキャリブレーション確認 ・ICT掘削の出来形確認	・特別な機器等を使用せず、手持ちのスマートフォンで実施した。 ・遠隔臨場動画をASP上に保存することで、受発注者ともに容易に再確認が行えるようになった。

ICT建機キャリブレーション状況
(撮影画面キャプチャ)



ICT掘削出来形確認状況



スマホ用三脚・手持ち



イヤホンマイク



〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・立会状況を動画で保存する事で、高クオリティな臨場感を長期に渡り保存する事ができ、容易に再確認ができる。
- ・発注者の移動時間による手持ちが解消されるので工程を短縮できる。
- ・情報共有システムと連動している為、遠隔臨場方法が受発注者ともに理解しやすく、管理もしやすい。また、主任監督員以外も同時に閲覧ができる。

〈課題〉

- ・山間部では、通信圏外の地域があり、遠隔臨場を実施できない場合がある。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場まで往復3時間の移動時間がなくなり、業務の効率化が図れた。
- ・対面での接触が減ったことにより、新型コロナウイルス感染リスクの低減に繋がった。

〈課題〉

- ・セキュリティの関係で、発注者側の通常業務用PCでは遠隔臨場が行えなかった。このため、別途導入しているタブレット端末にて実施した。

【立会状況（現場側）】

【工夫が分かる写真（機器、方法など）】



【立会状況（監督側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

17.【佐賀県】佐賀県多久市 山犬原川河川激甚災害対策特別緊急工事(迂回路工)

〈試行工事概要〉

工期	R3.12.16～R4.11.30
試行期間	R4.4.1～R4.10.22
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・迂回路(国道迂回路) L=247.1m ・車道舗装 A=2,110m² ・歩道舗装 A=412m² ・護岸工(両岸) L=20.2m A=118m²
発注者	佐賀県 佐賀土木事務所
受注者	株式会社 中島工務店

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット端末 (iPad Pro) 「配信」 ・アテネット (島内エンジニア) NETIS QS-200026A	段階確認項目 ・仮設防護柵設置の出来形確認 ・舗装工の出来形確認 等	・段階確認項目の他に立会項目(現場環境改善確認等)及び現地打合せ等にも使用し、確認を行いました。



【立会状況 (現場側)】



【使用機材 (配信会社支給)】

〈現場の声〉

●施工者 (受注者)

〈効果〉

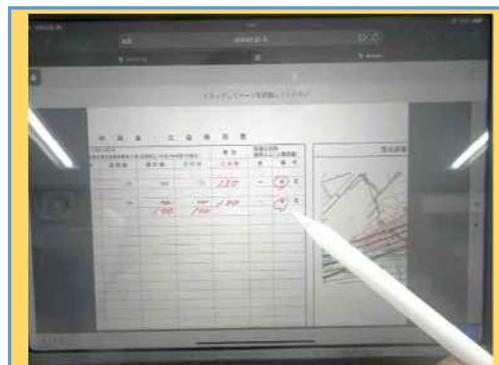
- ・現地立会ではない為、交通機関の影響(交通渋滞等)もなく、予定時刻に立会が出来ました。
- ・立会簿の電子記載により、雨天の影響及び紛失等の心配がありませんでした。
- ・人同士の接触が少ない為、感染症対策となりました。

〈課題〉

- ・タブレットカメラ使用により、両手がふさがる為、一人での検測等が困難でした。



【立会状況 (監督側)】



【ペーパーレス及び紛失防止 (電子記入)】

●監督員 (発注者)

〈効果〉

- ・当該現場は片道40分と遠方の現場であったため、特に時間短縮となり、業務改善に寄与した。
- ・昨今のコロナ禍において、人との接触を避けるなどにより感染症対策となった。

〈課題〉

- ・舗装工や仮設防護柵の出来形については、遠隔臨場のカメラにて十分に視認できたが、プルフローリング段階確認では、細部までわからない部分もあり、向き不向きがあると感じました。

18.【福岡市】福岡県福岡市

中洲332号線（中洲中央通り）道路舗装工事（その2）

〈試行工事概要〉

工期	R3.5.15～R4.1.19
試行期間	R3.5.15～R4.1.19
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・工事延長 L=123.3m ・車道：ロードアスファルト舗装 A=659.9m² ・歩道：型押し着色舗装 A=735.9m²
発注者	福岡市博多区役所
受注者	萩尾舗道（株）

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配 信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン ・iPad 「配信」 ・Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎砕石厚の確認 ・路盤厚の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊な機器を準備することなく、既存のスマートフォン等で実施した。



【立会状況（現場側）】



【使い慣れた機器を使用】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

・緊急事態宣言下において、現場臨場せずに基礎砕石や路盤厚の確認ができ、現場での密を防ぐことができた。

〈課題〉

・特になし。

●監督員（発注者）

〈効果〉

・移動時間の削減になった。
 ・スクリーンショットを活用し、現場の状況をデータで保存できた。

〈課題〉

・特になし。



【立会状況（監督側）】



【スクリーンショットで現場状況を記録】

19.【大分県】大分県豊後高田市 臼野港 港湾改修工事

〈試行工事概要〉

工期	R2.9.30～R3.7.21
試行期間	R3.4.1～R3.7.21
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・防砂堤 L=130m ・基礎工 V=5792m³ ・被覆ブロック工 N=2092個
発注者	大分県
受注者	(株)管組

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット端末 「配信」 ・Zoom	・被覆ブロックの出来形確認 等	・大型モニターを準備し、複数の職員による確認や細かい部分が見えるよう配慮した。



【立会状況（現場側）】



【大型モニターによる細部確認】

※大型モニターを準備

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・朝一の立会いなど日程調整が容易となった。
- ・コロナ感染症対策拡大防止に効果的。

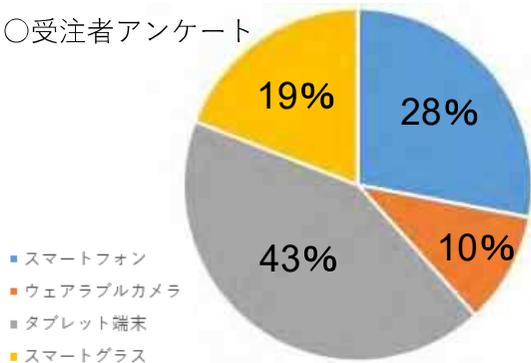
〈課題〉

- ・山間部など通信状況の悪い現場がある。
- ・現場での操作など慣れが必要。
- ・細部の数値確認が難しい場合がある。



【立会状況（監督側）】

○受注者アンケート



【適していると思われる機器】

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・移動時間が減るため、業務効率化できる。
- ・複数の職員による確認が可能となり、若手職員への指導に役立つ。

〈課題〉

- ・受注者が準備した機器による画質の違いがある。
- ・庁内ネットワークのセキュリティで対応できないシステムがあり、別途、タブレット端末等の整備が必要。

20.【鹿児島県】鹿児島県霧島市

総合流域防災（緊急改築）工事（新湯谷R2-2工区）

〈工事概要〉

工期	R3.10.8～R4.6.14
期 間	R3.11.24～
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・副堤工 H=4.8m L=30.5m ・側壁工・水叩工 N=1式 ・管理用道路 L=97.0m
発注者	鹿児島県 始良・伊佐地域振興局
受注者	ヤマグチ株式会社

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・現場クラウドforサイボウズoffice「遠隔臨場」 「配信」 ・iphone13pro	<ul style="list-style-type: none"> ・堰堤工の埋戻前 出来形確認 ・堰堤工の完了出来形寸法の確認 ・基準高確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動時の手振れ防止の為にスマホに取付ける撮影用ハンドルを購入（監督員の課題解消の為） ・基準高検査時に画面上で読み値が確認出来るように、電子レベルを使用する。



【立会状況（現場側）】



【撮影用ハンドルと電子レベル】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・埋戻前の出来形確認で、監督員の拘束時間が短いので現場の希望する日時に遠隔臨場が実施でき、現場の待ち時間のロスを無くせる。
- ・ASPの「現場クラウドforサイボウズoffice」のオプションなので、記録した動画をASP上で簡単に共有でき、段階確認の資料として電子納品にも添付できる。

〈課題〉

- ・今使っている遠隔臨場の性能としてはズーム機能が無いので、接写の際は、若干不便ではある。



【立会状況（監督側）】



【複数モニターによる図面等とのチェック】

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場までの長距離かつ狭隘な山道の運転が軽減され、また片道60分の移動時間を他業務に当てられるので勤務時間の有効利用が可能となった。
- ・立会時に不明な点があった場合、その場で過去の資料や仕様書等を検索し確認することができる。
- ・大雨時や降雨後の現場状況がリアルタイムで把握できる。

〈課題〉

- ・山間に位置するため電波状況に左右され、画面・音声途切れることがある。
- ・移動しながらの撮影になる場合、画面が揺れて確認しづらいことがある。

21.【九州地方整備局】宮崎県東諸県綾町

本庄川崎ノ田地区堤防浸透対策(その1)工事

〈試行工事概要〉

工期	R2.8.20~R3.3.31
試行期間	R2.10.19~R3.3.31
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・工事延長 L=220m ・矢板工 N=364枚 ・ブロックマット A=1,419m² ・張芝 A=1730m²
事務所	宮崎河川国道事務所
受注者	龍南建設(株)

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ウェアラブルカメラ 「配信」 ・ASP(サイボーズ) ・専用システ (Android6.0.1 (AOSP))	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼矢板の材料確認 ・笠コンクリートの出来形確認 ・ブロックマットの出来形確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来形確認において、レベル計測値が表示でき、目視にてその数値が確認できるデジタルレベルを使用した。



【立会状況 (現場側)】



【工夫が分かる写真 (機器、方法など)】

〈現場の声〉

●施工者 (受注者)

〈効果〉

- ・事前に立会簿をメールしておいた為、立会がスムーズに行えた。
- ・当社として、初の施行であったので不安もありましたが、問題なく施行する事が出来ました。次現場も、希望したいと思います。

〈課題〉

- ・現場とPC側にカメラ画像の遅れがあり、そのぶんロス時間を要した。
- ・画像拡大時に、ウェアラブルカメラで拡大箇所を探すのに時間がかかり、映像送信までに時間を要する時があった。



【立会状況 (監督側)】



【工夫が分かる写真 (機器、方法など)】

●監督員 (発注者)

〈効果〉

- ・遠方の現場や短時間の立会時には、移動による時間的制約が最低限で済むことが優位である。
- ・レベルを見ることなく、デジタル表示で数値確認できることから、遠隔臨場にも対応は可能であった。

〈課題〉

- ・受信側PCにおいて、画像データと音声データのタイムラグが大きかったため、通常の現地立会より時間を要することがあった。
- ・タイムラグのある画像のため、後日の画像確認時に手間を要した。
- ・立会画像データの保存容量 (時間) が大きい (長い) こと。

22.【沖縄総合事務局】沖縄県名護市 令和3年度 許田地区交通安全対策工事

〈試行工事概要〉

工期	R3.10.14~R4.10.31
試行期間	R4.01.07~R4.10.31
工事内容 (主工種)	アスファルト舗装 A=3,260m ² 透水性舗装 A=824m ² 路側式標識 N=20基 片持式標識 N=2基 張芝 A=463m ²
事務所	北部国道事務所
受注者	國幸興發 株式会社

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配 信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ Android (携帯カメラ) 「配信」 ・ ASPer Live	・ コンクリート受入検査 ・ 街渠樹出来形確認 ・ フィルター層出来形確認 ・ 管渠型側溝材料確認 ・ 片持式標識材料確認	・ 片持式標識の材料確認をモニターでも数値が確認しやすい大型デジタルノギスを使用し遠隔臨場を実施した。 ・ 路床の基準高確認を杭打ちアプリを活用し、画面越しでの高さ確認を実施した。

〈現場の声〉

●施工者 (受注者)

〈効果〉

- ・ 今回初めての遠隔臨場であったが、事前に職員同士でデモンストレーションを行った事で遠隔臨場実施の際はスムーズに行えました。
- ・ 今回の遠隔臨場の経験を活かし今後も現場活用を行いたい。

〈課題〉

- ・ 現場記録側へポケットWi-Fiを常備し、遠隔臨場を実施しましたが、一部電波状況により、フリーズする場面が生じた為、今後はシステムの導入活用も踏まえて検討を行いたいと思います。
- ・ 今回工事にて下層路盤のプルフローリング試験もあったが、モニター越しでの不良箇所が確認できるかの不安があり、プルフローリング試験については、現場臨場にて立会確認して頂きました。

●監督員 (発注者)

〈効果〉

- ・ 通信障害等懸念はあったが、ポケットwi-fiを使用することによりスムーズに確認ができた。
- ・ デジタルノギスを使用し数値がわかりやすい。

〈課題〉

- ・ 電波状況により、一部フリーズする箇所があり改善の余地がある。
- ・ 数値等の確認は遠隔でもよいと思うが、プルフローリングなど目視確認の場合は画像での確認が困難である。



【立会状況 (現場側)】



【大型デジタルノギス】



【立会状況 (監督側)】



【工夫が分かる写真 (杭打ちアプリ)】

23.【長崎県】長崎県新上五島町 主要地方道有川新魚目線道路改良工事（護岸工4工区）

〈試行工事概要〉

工期	R3.7.13~R4.5.31
試行期間	R3.8.10~R4.4.31
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・工事延長 L=48m ・護岸工 L=48m ・カルバート工 L=14.4m
発注者	長崎県五島振興局上五島支所
受注者	(株)浜田組

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・Webex	<ul style="list-style-type: none"> ・材料確認 ボックスカルバートの配筋検査・寸法確認 ・立会確認 捨石工における投入・均し確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・配筋検査の際はスマートフォン越しでもわかるように、色分けされたマーカーを使用し、容易に確認できるようにした。 ・監督側の声も周囲の音も聞こえるよう耳を塞がないイヤホンを使用。 ・手振れ防止のためジンバルを使用。



【立会状況（現場側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

画面上でもわかるように鉄筋の種類ごとにマーカーを貼付。

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・監督員との日程調整の負担が少なくなるため、予定が立てやすかった。
- ・遠隔臨場用にウェアラブルカメラ等を購入せず、技術者所有のスマートフォンで対応できたので、初期投資が低く済んでよかった。

〈課題〉

- ・モバイル回線で通信を行ったので、時々電波が不安定になることがあった。特に離島の場合は電波が届かない場所があるので、その際の対応が難しい。
- ・アップで写した際の画素数の限界があるので、見えているかどうかわからない時がある。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・移動時間が短縮できるため、別件との調整がし易くなった。
- ・現場作業による当日の立会時間変更等にも柔軟に対応することができた。

〈課題〉

- ・海岸部での工事であったため、風が強い日の立会などは、音声が聞き取りづらくなることがあった。
- ・スマートフォンでの映像のため、ある程度の手ぶれなどがあり映像が見にくくなることがあった。



【立会状況（監督側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

水平を保って見やすいように、スタビライザー機能を持つジンバルを使用。

周囲の音が聞こえるよう、耳を塞がない骨伝導ワイヤレスイヤホンを使用。

24.【宮崎県】宮崎県宮崎市 令和2年度県道木脇高岡線宮王丸工区 道路改良工事

〈試行工事概要〉

工期	R3.7.12~R4.3.28
試行期間	R3.9.1~R4.2.28
工事内容 (主工種)	延長 L=120.0m 幅員 W=6.5(11.25)m 盛土工(ICT) V=14, 880m3 補強盛土工 L=34.9m ボックスカルバート工 L=34.0m
発注者	宮崎県宮崎土木事務所
受注者	(株)志多組

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・遠隔臨場SiteLive (建設システム)	<ul style="list-style-type: none"> 二次製品等の使用材料確認 補強盛土工の出来形確認 L型水路鉄筋出来形確認 現場進捗状況確認 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンにジンバルを装着し、手振れ防止を行った。



【立会状況 (現場側)】



【ジンバル装着による手振れ防止】



【立会状況 (発注者側)】



【立会状況 (現場側)】

〈現場の声〉

●施工者 (受注者)

〈効果〉

- ・発注者との日程調整が容易になった。
- ・発注者の移動時間による待ち時間が解消されるので工程を短縮できる。
- ・対面での接触が減ったことにより、新型コロナウイルス感染リスクの低減に繋がった。

〈課題〉

- ・発注者側の受信用端末のセキュリティが高く、アプリがインストールできなかったため、受注者側で専用のタブレット端末を準備した。
- ・通信状態が悪い事があり、立会の一時中断が発生した。
- ・端末を保持する人員が別途必要となるため、現場臨場立会と比較し、必要人員が増えた。

●監督員 (発注者)

〈効果〉

- ・現場まで往復1時間の移動時間がなくなり、業務の効率化が図れた。
- ・対面での接触が減ったことにより、新型コロナウイルス感染リスクの低減に繋がった。
- ・臨場以外にも各種打合せもリモートで現地確認しながら実施できた。

〈課題〉

- ・通信環境が悪くコミュニケーションが上手くいかないことがあった
- ・受注者から提案された遠隔臨場ソフトウェアが、発注者側の端末のセキュリティにより、受信用アプリがインストールできなかったため、受注者から別途タブレット端末の貸与が必要となった。

〈試行工事概要〉

工期	H31.3.28~R3.3.31
試行期間	R2.6~R3.3
工事内容（主工種）	<ul style="list-style-type: none"> ・管渠工（推進工）φ2400 29.10m ・管渠工（開削工）□2000×1800mm 7.45m ・管渠工（開削工）□2000×1800mm 5.80m ・管渠工（開削工）□3200×1800mm 30.50m ・特殊人孔 3カ所
発注者	北九州市
受注者	宮本建設工業(株)

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	オンラインによる確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン（Android） 「配信」 ・Zoom	ボックスカルバート工場製作 ・配筋検査 ・載荷試験 ・圧縮強度試験 薬液注入工 ・ゲルタイム測定	・新型コロナウイルス感染症対策として、隣県での工場検査等をオンライン監督で行った。



【立会状況画面（現場側）】



【監督員は確認出来たらOKサイン】



【立会状況画面（現場及び監督側）】



【NHKニュースの取材】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・材料検収等には有効だと思う。

〈課題〉

- ・道路の騒音で監督員の声が聞きづらいことがあった。
- ・真夏はスマートフォンが熱をもち、電源が頻繁に切れたので長時間の使用は困難だった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場への移動が省略でき監督行為の負担軽減になった。

〈課題〉

- ・現場代理人のスマートフォンが熱をもち電源が切れることがあった。

26.【福岡県】福岡県嘉麻市

県道熊ヶ畑上山田線柿ノ木橋橋梁下部工（A2）工事

〈試行工事概要〉

工期	R3.8.27～R4.6.30
試行期間	R3.8.27～R4.6.30
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・旧橋撤去工（P1） N=1基 ・旧橋撤去工（A2） N=1基 ・橋梁下部工（A2） N=1基 ・土留仮締切工 N=1式
発注者	福岡県飯塚県土整備事務所
受注者	柴田建設工業(株)

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・現場クラウドforサイボウズoffice（遠隔臨場）	・材料確認 土留・仮締切工（H鋼杭、矢板における材料の寸法の確認）	・発注者、受注者が音声操作で確認を行えた。



【立会状況（現場側）】



【工夫が分かる写真（再確認が可能）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・臨場によるコロナリスクの低減、発注者の現場までの移動時間削減ができた。

〈課題〉

- ・携帯電話を使用したので手がふさがるのが課題です。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・従来は往復1時間以上かかっていたが、遠隔臨場を行うことで、移動時間を減らし、業務効率化につながった。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の一環として、対面でのやり取りが減らせる。
- ・段階確認以外でも現場確認ができ、業務の効率化が図れる。

〈課題〉

- ・遠隔臨場に使用する書類を事前にメールにてやり取りする必要がある。
- ・立会の内容によっては画面映像のみでは判定しにくい場合がある。



【立会状況（監督側）】



【立会状況（現場側）】

27.【北九州市】福岡県北九州市 戸畑枝光線（牧山枝光間）橋梁上部工製作架設工事（31-1）

〈試行工事概要〉

工期	R元.5.23～R2.11.30	
試行期間	R2.2～R2.11	
工事内容（主工種）	鋼3径間連続非合成鉄桁橋 ・橋長 ・全幅員（平均）	103.40m 5.90m
発注者	北九州市	
受注者	九鉄工業(株)	

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	オンラインによる確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン (iPhone) 「配信」 ・Zoom	桁製作工 ・橋梁仮組検査 支承工 ・支承装置工場検査 工場塗装工 ・塗装検査 ・空缶検収 他	試行前の実験として、R2.2月に受注者、監督課、検査課が協議し橋梁仮組の工場検査をオンラインで行った（本市初の取組）。 Zoomは受注者の提案。スマホを2台使用し延長測定では起点終点の映像の同時撮影など時間短縮を図る等効率化が図られた。



【立会状況画面（現場側）】
起点・終点の画面切り替えは現場代理人が行った



【継手部隙間測定】
目盛に寄れば確認可能



【鋼材の面取り処理】
カメラが寄っても確認しづらい

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・測る、数える等には有効だと思う。

〈課題〉

- ・工場の騒音で監督員の声が聞きづらいことがあった。
- ・仕上りの確認はオンラインでは難しい感じだった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場への移動が省略でき監督行為の負担軽減になった。
- ・この現場でオンライン監督の有効性が確認できたことから、その後の工事でも積極的に活用できた。

〈課題〉

- ・出来栄の確認は難しい。



【立会状況画面（現場側）】



【超音波探傷試験】
画面の確認も可能



【溶接の仕上がり】
静止して寄れば確認可能だが移動しながらの確認は映像では難しい

〈試行工事概要〉

工期	R3.4.1～R3.9.27
試行期間	R3.9.2
工事内容 (主工種)	・ 橋梁耐震補強 N=1 基
発注者	沖縄県中部土木事務所
受注者	(株)大成ホーム

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ zoom 「配信」 ・ zoom	・ 仮設鋼板パネルの材料確認 ・ 仮設鋼板パネルの膜厚確認	・ 材料を見やすいように全景が分かるように撮影。



〈現場の声〉

● 監督員（発注者）

〈効果〉

- ・ 遠隔の出張等の時間削減で業務の簡素に繋がった。

〈課題〉

- ・ 全景撮影が少なかったため、どの部分の検測か把握するのに時間を要した。

〈対応〉

- ・ 県で取り決めした撮影方法：全景→周囲撮影→部分撮影の方法を事前に受注者へ周知する。

● 施工者（受注者） 〈効果〉

- ・ 事前準備や立会時間等が削減でき、効率化に繋がった。

〈課題〉

- ・ 事前に管理（測定、撮影）する部分を決めていなかったため、検査に時間を要した。

29.【宮崎県】宮崎県東臼杵郡椎葉村 令和2年度大藪2地区地すべり防止工事（排土工）

〈試行工事概要〉

工期	R3.3.17~R4.2.19
試行期間	R3.4.20~R3.11.25
工事内容 (主工種)	延長 L=122.1m 切土工 V=12,927m ³ 側溝工 L=114.0m 法肩排水工 L=60.0m
発注者	宮崎県西都土木事務所
受注者	五幸建設（株）

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配信」 に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・ASP（現場クラウド forサイボウズOffice）	<ul style="list-style-type: none"> ・立木伐採範囲の確認 ・側溝の材料確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な機器等を使用せず、手持ちのスマートフォンで実施した。



【立会状況（現場側）】



【スマートフォンで現地撮影】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・発注者の移動時間による手待ちが解消されるので工程を短縮できる。

〈課題〉

- ・山間部では、通信圏外の地域があり、遠隔臨場を実施できない場合がある。



【立会状況（監督側）】



【タブレット画面で確認】

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場まで往復2時間の移動時間がなくなり、業務の効率化が図れた。

〈課題〉

- ・山間部では、通信圏外の地域があり、遠隔臨場を実施できない場合がある。
- ・同一工区で複数の受注者がいる場合、遠隔臨場を実施する会社と実施しない会社があると効果が薄れる。

30.【宮崎県】宮崎県東臼杵郡椎葉村 令和2年度鹿野遊谷川砂防堰堤工事

〈試行工事概要〉

工期	R3.6.22～R4.6.21
試行期間	R4.4.1～R4.6.21
工事内容 (主工種)	掘削工 V = 3,033m ³ 高所法面掘削工 V = 915m ³ モルタル吹付工 A = 556m ² 砂防堰堤本体 V = 1,326m ³ 側壁工 V = 62m ³
発注者	宮崎県日向土木事務所
受注者	旭建設(株)

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット端末 (iPad) 「配信」 ・ASP (現場クラウド forサイボウズOffice)	・ラス金網、主、補助アンカーの材料確認	・iPadを使用し、ノギスの数値が見やすいよう配信者が確認しながら配信した。(高解像度の映像の相互通信が可能であった。)



【立会状況 (現場側)】



【工夫が分かる写真 (機器、方法など)】

〈現場の声〉

●施工者 (受注者)

〈効果〉

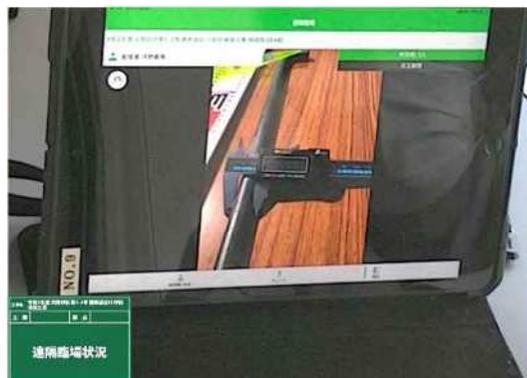
- ・発注者との日程調整が容易になった。
- ・発注者の移動時間による手待ちが解消されるので工程を短縮できる。

〈課題〉

- ・山間部では、通信圏外の地域があり、遠隔臨場を実施できない場合がある。



【立会状況 (監督側)】



【工夫が分かる写真 (機器、方法など)】

●監督員 (発注者)

〈効果〉

- ・受注者との日程調整が容易になった。
- ・現場まで往復1時間の移動時間がなくなり、業務の効率化が図れた。

〈課題〉

- ・山間部では、通信圏外の地域があり、遠隔臨場を実施できない場合がある。